

政策分析シート（令和4年度）

政策名		良好で快適な生活環境の形成			政策No	08		部名	防災都市づくり部		
関連部名		環境清掃部									
行政評価事業体系		分野	Ⅳ 環境先進都市								
目的		住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。									
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文					
			元年度	2年度	3年度						
	①	生活環境の充実	3. 23	—	3. 26	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？					
	②	まちなみの良さ	3. 02	—	3. 02	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？					
	③	周辺環境の快適さ	3. 06	—	3. 10	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？					
	④										
	⑤										
	⑥										
	⑦										
	指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明			
元年度				2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)				
①		公園・児童遊園面積（ha）	43. 2	43. 2	44. 8	45. 3	48. 0				
②		住みよいと感じる人の割合（％）	92	92	92	94	95	区政世論調査			
③		細街路後退用地整備率（％）	45	46	47	48	52	整備延長／整備対象道路延長両側（自主整備含む）			
④											
⑤											
⑥											
⑦											

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度					2年度			
	3年度					3年度			
	差額					差額			
	給与関係費	396,829	407,113	10,284		地方税等	0	0	0
	物件費	840,312	847,285	6,973		国庫支出金	5,091	11,407	6,316
	維持補修費	441,965	377,118	▲ 64,847		都支出金	109,284	43,992	▲ 65,292
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	4,774	4,774
	補助費等	111,342	98,163	▲ 13,179		使用料及び手数料	935,085	942,230	7,145
	減価償却費	362,353	376,863	14,510		その他行政収入	98,208	110,901	12,693
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,147,668	1,113,304	▲ 34,364		
賞与・退職給与引当金繰入額	57,067	131,863	74,796	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,625,726	▲ 1,708,097	▲ 82,371		
その他行政費用	563,526	582,996	19,470	金融収支差額(d)	▲ 1,645	▲ 1,226	419		
行政費用合計(b)	2,773,394	2,821,401	48,007	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,627,371	▲ 1,709,323	▲ 81,952		
特別費用(g)	517	149,663	149,146	特別収入(f)	0	64,299	64,299		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 517	▲ 85,364	▲ 84,847	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,627,888	▲ 1,794,687	▲ 166,799		

貸借対照表	勘定科目				勘定科目	勘定科目			
	2年度					2年度			
	3年度					3年度			
	差額					差額			
	収入未済	19,059	14,793	▲ 4,266		流動負債	44,605	37,028	▲ 7,577
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	23,969	16,129	▲ 7,840
	有形固定資産	226,167,004	227,317,359	1,150,355		賞与引当金	20,636	20,899	263
	土地	208,141,087	208,611,443	470,356		その他の流動負債	0	0	0
	建物	7,342,516	7,502,623	160,107		固定負債	317,426	337,477	20,051
建物減価償却累計額	▲ 3,600,982	▲ 3,767,822	▲ 166,840	特別区債	92,627	76,498	▲ 16,129		
工作物等	20,164,534	21,021,444	856,910	退職給与引当金	224,799	260,979	36,180		
工作物等減価償却累計額	▲ 5,880,151	▲ 6,050,328	▲ 170,177	その他の固定負債	0	0	0		
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	362,031	374,505	12,474		
建設仮勘定	347,371	108,831	▲ 238,540	正味財産	226,186,338	227,080,243	893,905		
その他の固定資産	14,935	13,765	▲ 1,170	正味財産の部合計	226,186,338	227,080,243	893,905		
資産の部合計	226,548,369	227,454,748	906,379	負債及び正味財産の部合計	226,548,369	227,454,748	906,379		

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用の約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、1割半ばを道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。

○有形固定資産が大幅に増加しているが、これは宮前公園第一期部分のオープンに伴うものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、令和3年度には44.8haとなった。 ○道路ストック総点検の実施や道路橋の点検等を実施した。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの植栽数の増加に取り組んでいる。 ○居住環境は過去の住商工が共存していた時代から、再開発事業の進展や民間マンションの建設等により、大きな変化の時期を迎えている。
課題	○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。 ○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。 ○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障がい者・子育て世代などの居住支援要配慮者を含め、誰もが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。
今後の方向性	○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。 ○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、身近な居住環境の整備を通じて、住みやすく快適な街を形成していく。 ○下町の風情を残した街並みを生かしながら、開発と調和の取れた居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	4年度 設 定	5年度 設 定	
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑のまちづくりを推進する必要がある。また、地域の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。